

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2002-108419(P2002-108419A)

【公開日】平成14年4月10日(2002.4.10)

【出願番号】特願2000-294291(P2000-294291)

【国際特許分類第7版】

G 05 B 19/05

【F I】

G 05 B 19/05 S

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月7日(2005.9.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】非同期PLC間スケジュール管理方法及びそのシステム

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【特許請求の範囲】

【請求項1】スケジュールデータを管理するスケジュール管理用PLCと、前記スケジュール管理用PLCとは非同期で実行スケジュールデータにより機械を制御する機器制御用PLC間ににおいて、1バッチ終了毎に機器制御用PLCの制御カウンタ値を基準に同期タイミングを調整し、同期タイミング調整後に前記スケジュール管理用PLCより送出する制御再開信号によって前記機器制御用PLCはシーケンスを開始することによって、非同期PLC間の同期タイミングを調整しスケジュールデータの管理を行うことを特徴とする非同期PLC間スケジュール管理方法。

【請求項2】請求項1に記載のPLC間スケジュール管理方法において、1バッチ終了毎にスケジュール管理用PLCの制御カウント値を基準に同期タイミングを調整し、同期タイミング調整後に前記スケジュール管理用PLCより送出する制御再開信号により前記機器制御用PLCはシーケンスを開始することによって、非同期のPLC間の同期タイミングを調整しスケジュールデータの管理を行うことを特徴とする非同期PLC間スケジュール管理方法。

【請求項3】スケジュールデータを管理するスケジュール管理用PLCと、前記スケジュール管理用PLCとは非同期で実行スケジュールデータにより機械を制御する機器制御用PLC間ににおいて、1バッチ終了毎に機器制御用PLCの制御カウンタ値を基準に同期タイミングを調整し、同期タイミング調整後に前記スケジュール管理用PLCより送出する制御再開信号によって前記機器制御用PLCはシーケンスを開始することによって、非同期PLC間の同期タイミングを調整しスケジュールデータの管理を行うことを特徴とする非同期PLC間スケジュール管理システム。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、分散制御による非同期PLC（プログラマブルコントローラ）間のスケジュールデータ管理方法及びそのシステムに関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで、本発明は、特別な設備の増設等の必要がなく、分散した非同期な異種PLC間においてもスケジュールデータのタイミングのずれ無く管理され、大量のデータ転送にも対応してCPUダウンなどが起こらない非同期PLC間スケジュール管理方法及びそのシステムを提供することを目的としている。